

きっと ここが帰る場所 (2011)

THIS MUST BE THE PLACE

メディア 映画
ジャンル ドラマ 音楽 コメディ
製作国 イタリア／フランス／アイルランド
色彩 Color
時間 119分
初公開日 2012/06/30
公開情報 スターサンズ＝セテラ・インターナショナル
映倫 G

【キャッチコピー】
人生は美しさで満ちている
だけど、時々、何かが変だ…

【解説】
「イル・ディーヴォ」で2008年のカンヌ国際映画祭審査員賞を受賞したパオロ・ソレンティーノ監督が、その際に意気投合した審査委員長のショーン・ペンと交わした約束が結実し撮り上げた異色のロード・ムービー。ふさがちな元ロックスターが、ホロコーストを生き延びた亡き父の遺志を引き継ぎ、ナチSS隊員を追ってアメリカ横断の旅を続ける中で、次第に心のわだかまりを解消していく姿を奔放な筆致で描き出す。共演は「ファーゴ」のフランシス・マクドーマンド。また元トーキング・ヘッズのデヴィッド・バーンが手がける音楽も話題に。
かつて絶大な人気を誇ったロックのスーパースター、シャイアン。今はダブリンの豪邸で消防士の妻ジェーンと半隠遁生活を送っていた。そんなある日、故国アメリカから30年以上も会っていなかった父の危篤を知らせる連絡が届く。飛ぶのが苦手なシャイアンは船でニューヨークへ向かい、案の定、臨終には間に合わず。その後、遺品から父がホロコーストの生き残りで、元SS隊員のアロイス・ランゲを生涯追い続けていたことを知る。シャイアンはわずかな手がかりを頼りに、もはや生きているかも分からないランゲの捜索に乗り出すのだが…。

【クレジット】			
監督	パオロ・ソレンティーノ	Paolo Sorrentino	
製作	ニコラ・ジュリアーノ	Nicola Giuliano	
	フランチェスカ・シーマ	Francesca Cima	
	アンドレア・オキピンティ	Andrea Occhipinti	
原案	パオロ・ソレンティーノ	Paolo Sorrentino	
脚本	パオロ・ソレンティーノ	Paolo Sorrentino	
	ウンベルト・コンタレッロ	Umberto Contarello	
撮影	ルカ・ビガッツィ	Luca Bigazzi	
プロダクションデザイン	ステファニア・セッラ	Stefania Cella	
衣装デザイン	カレン・パッチ	Karen Patch	
編集	クリスティアーノ・トラヴァリョーリ	Cristiano Travaglioli	
音楽	デヴィッド・バーン	David Byrne	
	ウィル・オールダム	Will Oldham	
出演	ショーン・ペン	Sean Penn	シャイアン

フランシス・マクドーマンド
ジャド・ハーシュ
イヴ・ヒューソン
ケリー・コンドン
ハリー・ディーン・スタントン
ジョイス・ヴァン・パタン
デヴィッド・バーン
オルウェン・フエレ
シェイ・ウィガム
リロン・レヴォ
ハインツ・リーフェン
サイモン・デラニー
グラント・グッドマン
ケフ・リー

Frances McDormand
Judd Hirsch
Eve Hewson
Kerry Condon
Harry Dean Stanton
Joyce Van Patten
David Byrne
Olwen Fouere

Liron Levo
Heinz Lieven
Simon Delaney
Grant Goodman
Kef Lee

ジェーン
モーデカイ・ミドラー
メアリー
レイチェル
ロバート・プラス
ドロシー・ショア
デヴィッド・バーン
メアリーの母
アーニー・レイ
リチャード
アロイス・ランゲ
ジェフリー
トミー
デズモンド